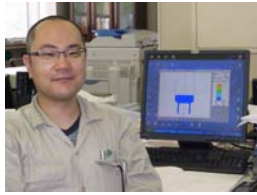


5. 従業員からの一言メッセージ

すべてのステークホルダーの皆様のために、社員の強い思いが環境への取り組みを支えています。



知多工場 スラグ事業部 技術部
生産技術課 主任 佐々木 雄二

私たちスラグ事業部技術部では、ファインスラグを成形するための各種設備の導入、保守、管理等を行っています。主な業務の一つとして、スラグの工程設計がありますが、設計の段階で鍛造成形の解析シミュレーションにより事前確認を行うことで、可能な限り鍛造試作回数を減らせるよう取り組んでいます。試作回数の削減による、製作金型の減少、機械稼働エネルギーの減少等で環境負荷低減に貢献しているという意識を持って日々の職務に取り組んでいます。



知多工場 スラグ事業部 製造部
業務製造課 スラグ班班長 藤高 治彦

現在中期計画 LA5 にてスラグ関係設備の増設、更新が進められています。2011年にスラグフォーマー11号機を新規に設置し、更に今後1年の間にスラグ酸洗の設備更新、立体倉庫の導入を予定しています。エネルギー効率の良い設備への更新、特にスラグ酸洗については、現行の4tボイラー使用から1t×2基使用に転換するため大幅なLNG使用量削減に繋がると予測されます。設備面での環境影響を改善すると共に、メンバーの意識面でも環境への配慮を頭に置き、省エネルギー化を進めていきます。



知多工場 線材事業部 製造部
業務課リーダー 伊藤 元晴

知多工場では、お客様へ製品をお届けする主要な運送手段であるトラックからの排気ガスによるCO₂削減の為、少量単位での納入のお客様に対し、数件づつ積み合せをして1車当たりの積載率を上げ、効率の良い配車をするよう、日々の管理に努めております。また、運転手の方へは停車時のアイドリングの禁止や、発車時のふんわりアクセル、加減速の少なくムラの無い運転等のエコドライブをするよう呼びかけ、輸送業務全体を通して環境保全、省エネ活動を推進して行きたいと思っております。



知多工場 線材事業部 製造部
製造課 伸線班班長 小島 武憲

私たち伸線班は、冷間圧造用鋼線の伸線を行っている職場です。日頃から環境への取り組みとして、工場屋根の明り取り窓の設置による天井照明の削減（昼動時のみ）や、待機ルーンの電源をこまめに切ることなどで無駄なエネルギーの削減や啓蒙活動に努めています。また、今年の5月からはLA5計画の一環である「無人搬送車(AGV)」が酸洗と伸線間で導入されたこともあり、安全面はもちろん環境に対しても従来のフォークリフト搬送に比べ、CO₂やエネルギーの削減が大幅に見込まれます。今後も5Sや環境活動には人的・設備的両面からのアプローチを続けて行き、「人にも地球にもやさしい職場」を目標に取り組んで行きたいと思っております。



十四山工場 磨棒鋼管事業部 十四山製造部
業務製造課 茂岡 夕美

十四山工場 業務製造課では5Sを特別なものとしてではなく、日常業務の一つであるという意識で活動してきました。事務所では毎朝始業前に自主的に10分程度、清掃を行うようになり綺麗な職場で毎日気持ち良く仕事をスタートさせています。また、昨年は5S表彰としてポスターの部で最優秀賞を頂きました。社長のVサインと共に書かせて頂いた「毎日5S宣言—5S活動継続中」をスローガンとして今後も更なる5S活動に取組み、綺麗な職場を維持して行きたいと思っております。



十四山工場 磨棒鋼管事業部 十四山製造部
業務製造課 連続引抜班長 下方 恵

私達の職場では、「資源の大切さ」をコンセプトに油漏れの防止・油飛散の改善で最小限の油購入や定量管理を取組む事により使用量削減の効果だけでなく5S活動においても高い評価を戴いています。また節電に対しても必要以上の暖機運転や空運転を無くし、無駄な電力の使用を無くす様心掛けています。今後も各自「自分がやらなきゃ」の強い意志を持って省エネ・省資源の活動を継続して行きます。



宮崎エンジニアリング株式会社
伊藤 健一

宮崎精鋼㈱のグループ会社である宮崎エンジニアリング㈱では新東工業グループと共同でディスクレーシングマシンの技術開発を行っています。従来のディスクレーシングマシンより、使用電力の削減、ショットの投射し過ぎによる無駄の削減、消耗部品の長寿命化、作業側側の外面温度低減による作業環境の改善を目標に、ディスクレーシングマシンの省エネルギー化を目指しています。



本社工場 磨棒鋼管事業部 本社製造部
業務製造課 村上 悠史

本社工場の事務所ではQC活動で電力の削減と見える化に取り組んでいます。エアコンの温度管理はもちろん、照明もデスクワークに必要な最低限な値を調べたり、PCの省電力運用方法にも着手しています。現在、東日本大震災に伴う電力不足から電力の削減は社会的にも急務とされており、宮崎精鋼としても全社を挙げて取り組む課題ではありますが、会社の方針だからやるのではなく、みんなで自主的に案を出して考え、実行していくことで恒久的な省エネ活動に繋げていきたいと思っております。